

新潟～長野地区の営業基盤を強化 新潟紙器工業の段ボール事業を承継

—— 安定供給体制の確立とパッケージソリューションのさらなる進化へ ——

パッケージメーカーのサクラパックス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：橋本 淳、以下「サクラパックス」）は、新潟地区における営業基盤の強化を目的として、令和 8 年 1 月 5 日付で新潟紙器工業株式会社（本社：新潟県加茂市、以下「新潟紙器工業」）の段ボール製造販売部門と発泡スチロール製造部門を会社分割後、段ボール製造販売部門の新設会社「新潟紙器工業株式会社（法人名は承継）」の全株式を取得して完全子会社化したことをお知らせいたします。

1. 背景と目的

サクラパックスはこれまで、富山県を拠点に石川県・新潟県（下越地区）にも工場を構え、北陸・信越エリアを中心とした営業基盤の下に高品質な包装 資材と設計ソリューションを提供してまいりました。2 年前には福井市にある(株)ミヤゴシ（段ボール製造販売）を M&A したことにより、福井県・滋賀県にも営業エリアを拡大いたしました。

エリアの課題として、大きな県である新潟県・長野県に跨る場所での営業・生産・配送拠点の必要性を持っておりました。新潟紙器工業は新潟県の中越地区に位置することから、この課題を解決し、大きな効果が得られるものと期待しております。

新潟紙器工業は長年にわたり地元で根ざした事業を展開してきましたが、近年の市場環境の変化を受け、財務基盤の強化と安定した供給体制の確立が課題となっていました。

今回の事業譲渡により、サクラパックスが持つ強固な財務基盤と高度な設計技術・営業力を、新潟紙器工業が築いてきた販売網と融合させます。これにより、新潟～長野地区のお客様に対して、これまで以上に安定し、かつ付加価値の高いパッケージソリューションを提供できる体制を構築いたします。

以上により、今回の M&A は両社にとって非常に有意義であり、大きなシナジーが見込めるものであります。

（株式譲渡価格は非公開といたします）

2. 事業承継の概要

今回の再編では、新潟紙器工業の事業のうち、段ボール製造販売部門（加茂本社・工場）を新設会社が引き継ぎ、サクラパックスの 100% 子会社として再スタートいたしました。

項目	内容
承継日	令和 8 年 1 月 5 日
承継方法	会社分割（新設分割）および株式譲渡
対象事業	段ボール製造販売、各種包装資材の企画・設計・販売
雇用・体制	全従業員の雇用は維持され、従来の営業担当者が引き続き窓口を務めます

3. 今後の展望

サクラパックスは本件を通じて、北陸・信越エリア全体のパッケージ供給の軸となる企業を目指します。具体的には、富山・石川・福井・新潟（中越・下越）の各拠点が連携することで生産能力を最適化し、広域的な受注獲得と物流効率の向上を図ります。

サクラパックス独自の提案型営業（パッケージング・デザイン等）を新潟～長野地区でも積極的に展開し、地域経済の発展に貢献してまいる所存です。

4. 各社概要

【譲受会社（親会社）】

項目	内容
名称	サクラパックス株式会社
所在地	富山県富山市高木 3000 番地
代表者	代表取締役社長 橋本 淳
創業	昭和 22 年 5 月 20 日
事業内容	段ボール製造販売ほか、各種包装資材等企画・設計・販売
URL	https://www.sakura-paxx.co.jp/

【承継会社（新体制）】

項目	内容
名称	新潟紙器工業株式会社
所在地	新潟県加茂市（旧・新潟紙器工業 段ボール部門）
株主構成	サクラパックス株式会社 100%
